



第6回 SONAR研究会 開催レポート



2011年6月17日(金) 13:30~19:30 ホテルラフォーレ東京



2011年6月17日(金) ホテルラフォーレ東京において、「第6回SONAR研究会」が開催されました。全国各地から品質に携わる大変多くの皆さま(計63社・97名)にご参加頂き、大盛況のうちに終了致しました。

今回は、自動車産業における活用事例、データ解析時のはずれ値除去、変数選択など「すぐに役立つ実践的な内容」をテーマに発表頂きました。

お陰さまで自動車、精密機器、半導体、液晶、鉄鋼、化学、など様々な業種の方々にご参加頂き、企業や業種の枠を超えて議論を交わしあう大変活気溢れる会となりました。

ご参加、ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

※各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

日程 2011年6月17日(金) 13:30~18:00 SONAR研究会 18:10~19:30 懇親会

主催 SONAR研究会幹事会 後援 株式会社ワイ・ディ・シー

協賛 (50音順)



第一部 13:40~



「自動車部品における品質解析(開発・生産・市場)の活用事例

ジャトコ株式会社 品質保証サービス部門
品質保証部 部長
森 隆直 氏

▶ジャトコ様におけるICT化の取り組みについて、従来の品質管理に対する課題から、YDC SONAR®導入に至るまでの経緯、導入後の効果を、活用拡大への試みも交えてご紹介頂きました。

第二部 14:30~



線形回帰モデルを自分で構築するための基礎力をつけよう

京都大学大学院工学研究科 准教授
加納 学 氏 (株式会社ワイ・ディ・シー 技術顧問)

▶回帰モデルを構築する上で、実務者が苦勞するポイント(外れ値検出、変数変換、変数選択)について、Hampel Identifier、LASSOなど実践的な手法を中心にご紹介いただきました。



因果関係を見つける幾つかのテクニック ~「品質解析セミナー(基礎編)」より~

株式会社ワイ・ディ・シー 製造ソリューション事業本部
インダストリアルコンサルタント 間宮 秀雄

▶品質解析の現場にて因果関係を見つけるテクニックとして、時系列データと品質データの紐づけ方法をYDC SONARを使ったケーススタディによって紹介致しました。



第6回 SONAR研究会 開催レポート



2011年6月17日(金) 13:30~19:30 ホテルラフォーレ東京

ディスカッション形式 各講演テーマによるグループ討議&討議結果の発表

参加者同士による「グループ討議」は好評につき、今回も実施致しました。講演テーマ別のグループに分かれて頂き、それぞれの会場で約60分にわたって活発な議論が行われました。



第三部
16:35~

お客様の声

- ✎ 実ユーザーの生の声を聞くことができ、非常に有意義でした。
- ✎ 業務上ではなかなか触れないアカデミックな雰囲気でのよい刺激になります。
- ✎ 内容の濃い活発な議論ができ、製品を介したユーザー間に広がりがありました。
- ✎ 他業種のニーズを知ることで、新たな使い方に気づくことができました。
- ✎ 業種を超えた情報交換ができる場として継続、発展させて欲しい。

多くの方が参加された懇親会では、討議結果の発表を行いました。他グループでの討議内容を確認しながら、同業種、他業種間での意見交換の場として大いに賑わいました。

懇親会
18:10~



➤ ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。◀

製造業の方を対象に品質向上、品質解析など様々な情報を提供するSONAR研究会は、今後も製造現場に役に立つようなテーマを取り上げ、すぐに活用・応用できるコンテンツをいち早く会員の皆様にご提供してまいりますので、ぜひSONAR研究会の会場へ足をお運びください。